

渡良瀬遊水地見学会

関宿城博物館・母子島遊水地・鬼怒川決壊現場を訪ねる



今回の見学会は、関宿城博物館で川と人々のかかわりについての歴史・産業・文化・自然等について学習します。また、大雨などで川の水が急に増えたとき、その一部を貯めて下流に流れる量を少なくする役割をもっている遊水地で日本最大の渡良瀬遊水地と母子島遊水地を見学します。さらに平成27年9月の東北豪雨により決壊した鬼怒川の決壊現場を見学します。

多くの方のお申込みをお待ちしております。

日	時	平成30年9月9日(日)	8:00	集合・出発
集合場所	JR新小岩駅 東北広場(裏面地図参照)			
参加費	1,000円(資料、交通費、保険料の一部として)			
募集人数	45名(先着順) eizoutosikeikaku@outlook.com 携帯 080-4006-8819			
行程	8:00 出発(集合次第出発します)			
	・関宿城博物館 見学(入場料は別途必要 団体一般160円 高・大学生80円)			
	・渡良瀬遊水地 見学			
	・母子島(はこじま)遊水地 見学			
	・平成27年9月東北豪雨による決壊現場 見学			
	17:20 見学終了			
	19:00 JR新小岩 東北広場 到着予定(道路状況により流動的です。)			

※昼食時間を設けておりません。各自ご持参下さい。

主催 市民防災まちづくり塾実行委員会・関東地域づくり協会

関宿城博物館

千葉県立関宿城博物館は、千葉県の最北端で利根川と江戸川の分流点のスーパー堤防上にあり、平成7年11月に開館しました。建物のうち、天守閣部分はかつての関宿城を古い記録に基づいて再現したものです。この博物館のある野田市関宿は、近世から近代にかけて利根川水運の中継地として栄え、高瀬船や通運丸が往来して賑わいました。また、徳川家康の異父弟松平康元を藩祖とする関宿藩には幕府の要職にある譜代大名が配置されました。そこで、この博物館は「河川とそれにかかわる産業」をテーマに河川改修や水運の歴史を紹介しながら、流域の人々と川との関わりについての資料を展示しています。また、関宿城や関宿藩の歴史についても併せて展示・紹介しています。なお、展示には多くの模型や映像資料を用い、ビジュアルに展開しています。ゲーム・コーナーもあるのでご家族皆様で楽しく学ぶことができます。



日本で最大の遊水地 渡良瀬遊水地

遊水地は大雨などで川の水が急に増えたとき、その一部を貯めて下流に流れる量を少なくする役割を持っています。

渡良瀬遊水地は、茨城県古河市の北西に位置し、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県との4県の県境にまたがる面積33km²の遊水地で、効率的な洪水調節を行うための調節池工事が昭和37年度より開始され、現在は第1調節池、第2調節池、第3調節池の3つの調節池に分割されています。

面積：約33平方キロメートル

周囲の長さ：約30キロメートル

平成27年9月東北豪雨による決壊

平成27年9月7日に発生した台風第18号や前線の影響で、西日本から北日本にかけての広い範囲で大雨となり、その後、台風第18号から変わった低気圧に流れ込む南よりの風、後には台風第17号の周辺からの南東風が主体となり、湿った空気が流れ込み続けた影響で、多数の線状降水帯が次々と発生し、関東地方と東北地方では記録的な大雨となった。

この豪雨によって、鬼怒川では、常総市三坂町地先において約200mにわたって堤防が決壊したことにより、大規模な浸水被害が発生した。



新小岩駅東北広場案内図



集合場所

JR新小岩駅北口から北口連絡通路を渡って、ロータリー広場にお集まりください。

